



否といへない人

三行中々

外村 繁 三行中々

□ 太宰君と最後に会ったのは、青柳瑞穂さん
 のさくたった夫人のお葬式の時のことだった
 。丁度、その席に藏原伸二郎さん、藤原審爾
 君がおあはせ、三人は初対面であつたので、
 私がそれぞれ紹介したことを覚えておる。藏
 原さんはもうあまり書かなくなつておたが、
 私の尊敬する作家であり、太宰君は言ふまで
 もなく花々しく活躍しておる人であり、藤原
 君も新進作家として認められ初めた頃のこと
 であつた。り、しかも三人の年令差は同じくら
 であつたので、私はかなり強い印象を受け
 た。

□ しかし太宰君はひどく疲れおるやうに見
 えたら、一番元氣さうなのは藏原さんで、太
 宰君を見るその視線には痛々しげなものが
 あつた。私も藏原さんに近い年令であつたが
 その三月、私の専も倒れ、まだ病床にあつ